

6. スロットルグループを閉じ、スタータボタンを押します。

エンジンが暖まっているときは、スロットルグループを $\frac{1}{8}$ から $\frac{1}{4}$ くらい開き、スタータボタンを押します。

通常の場合、これでエンジンがかかります。(エンジンのかかる時間は、70ページ記載の要領で確認してください。)

7. エンジンがかかったら、チョークレバーを“ON”の状態で暖機運転をつづけ、回転が下がってきたら、チョークレバーを完全に戻して(“OFF”の状態)、スタートします。

※この車は、セーフティスターター機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、エンジンは始動しません。但しこの状態でも、クラッチレバーを握ればエンジンは始動します。

注意

- ・スタータボタンを押して5秒以内にエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。
- ・これはバッテリー電圧を回復させるためです。無用の空ふかしはしないでください。
- ・ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンにも悪影響を与えます。

注意

- ・排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、せまい場所での始動は避けてください。